

「赤字」理由に清里少年自然の家が存続の危機

2019年11月10日(日)
日本共産党・板倉真也

小金井市の「少年自然の家(清里山荘)」が存続の危機に見舞われている。昨年10月の決算特別委員会に続き、今年10月の決算特別委員会でも、施設の廃止含めた事業見直しが複数の議員から主張されているからである。教育長は「今年度から3年間で利用者1万人を実現できなければ、残り2年の間で閉鎖の方向で検討すると、委託先の指定管理者に伝えた」と答弁(今年10月3日の決算特別委員会)。また、昨年10月の決算委員会では「将来の方向性を検討する期間としては平成32年度(2020年度)」と述べている(2018年10月2日の決算特別委員会資料)。

少年自然の家(清里山荘)

■建設年度 1990年12月竣工／1991年5月3日に清里少年自然の家としてオープン

敷地面積：22,978㎡

延床面積：3,810.70㎡(附属施設含む)

建物構造：鉄筋コンクリート造り、地上2階(一部3階)・地下1階

耐用年数「38年間(2028年度まで)」

2019年10月3日(木)決算特別委員会での教育長答弁



階	主な施設名	主な機能・内容
1階	客室	6室：15畳(2室30畳として利用可能) 1室：12畳 1室：身障者用(洋室・2人用)
	食堂	収容人数 200人
	浴室	大浴室2(男女各1ずつ) 小浴室2(男女各1ずつ)
	体育館	バレーボール1面、バドミントン2面、バスケットボール1面、卓球台10台
	乾燥室	スキー・スケート用具収納可能
	洗濯室	洗濯機3台(内、乾燥機付1台)
2階	客室	10室：12畳(トイレ付) 6室：15畳(2室30畳として利用可能) 1室：12畳
	研修室	収容人数40人：会議、講習会、研修会 16mm映写機、スライド映写機、スクリーン、ビデオデッキ、レクチャーアンプ、等あり
3階	天体望遠鏡	28cm大型反射望遠鏡、小型天体望遠鏡7台、天体観測広場
	その他	バーベキュー小屋、多目的広場、駐車場20台
備考	体育館、天体観測室、研修室、バーベキュー小屋及び多目的広場は、共同施設とする。ただし、独占使用をするときは、清里山荘使用申請書と同時に申請しなければならない。(管理運営要綱第8条)	
	★指定管理者制度／2006年9月から導入 ※2019年4月から再度、5年間の指定管理スタート ★年間維持管理経費／42,206千円(2018年度)	

■利用状況

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
利用総人数		8,310人	6,828人	6,848人	7,020人
宿泊人数	林間学校※	990人	1,028人	894人	881人
	上記以外	3,803人	3,347人	3,465人	3,384人

小金井市民以外でも利用できる

教職員・介助者等を含む

※小金井市立小学校6年生児童の移動教室および特別支援学級在籍中学生で利用(2泊3日)

—— 2018年度は7月22日から8月9日までの19日間 —— 2018年度は5月16日～18日の3日間

【参考】 小金井市立小中学校の「移動教室」

